

泉佐野丘陵緑地 デザインコード（指針）について～これまでのふりかえり～

○デザイン・整備に関する基本的考え方

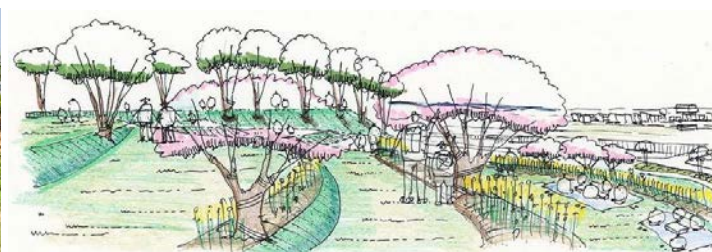
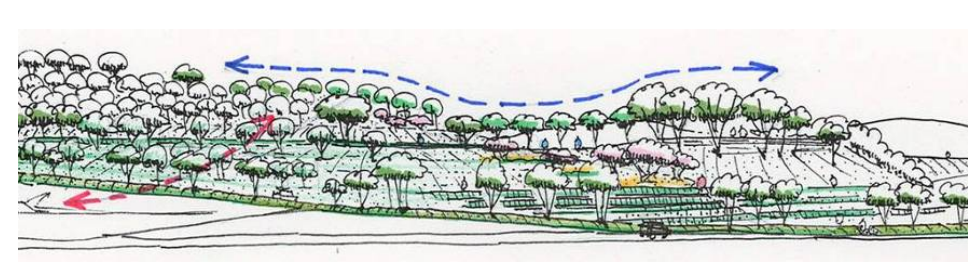
人と自然の営みがつちかかってきた景観を活かし、土地利用・自然災害等を通じて痛んだ丘陵景観・自然環境を元々の良好な形に修復することを基調にデザイン・整備を図る。

景観に関する考え方

- ・昔から継承されてきた樹林や地形を良好な状態へ修復する。
- ・山並み、樹林、地形の連続性を確保する。
- ・魅力的な微地形を活かす。
- ・見晴らしのよい場所を守る。
- ・周辺地域の伝統文化・技術を取り入れる。

中地区で特に大切にする景観

- 公園の外から見たなだらかな丘の景色
- 棚田跡のだんだん
- 公園の顔になる森



各施設における景観構成要素

「色」

- ・景観を阻害（自己主張）せず、周辺環境になじむ、自然を感じさせる色彩
- ⇒ 飴色、柿渋色、栗色、うぐいす色、うす萌黄など
- ・泉州地域の民家の屋根瓦、外壁
- ⇒ 燻黒、墨色、うす鈍色など



※日本の伝統色より

「かたち」

- ・景観を阻害（自己主張）せず、周辺環境になじむ、自然を感じさせる形状
- ・急激な変化は少なく、ゆるやかな形状
- ※ただし、来園者の安全確保、利便性にかかる部分については、機能性も考慮 ⇒ 欄干、安全柵高さ など

「素材」

- ・生態系にやさしい材料、製品、工法
- ・出来る限り現地で採取、発生する材料（有機物のゼロエミッション）
- ※ただし、来園者の安全確保、利便性にかかる部分については、機能性を考慮 ⇒ 擬木など



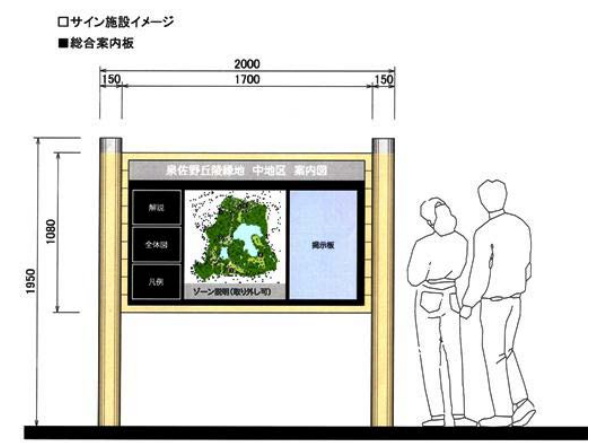
道路照明灯



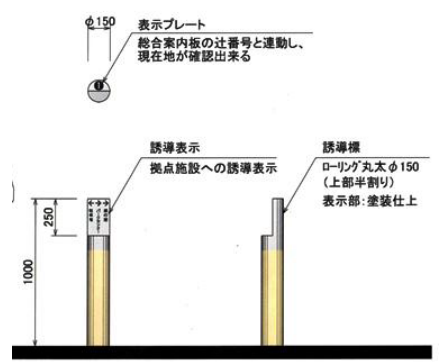
園路灯



誘導灯



総合案内板



辻サイン

H26 泉佐野丘陵緑地中地区 サイン計画

1. サイン施設の考え方

■サイン施設設置方針

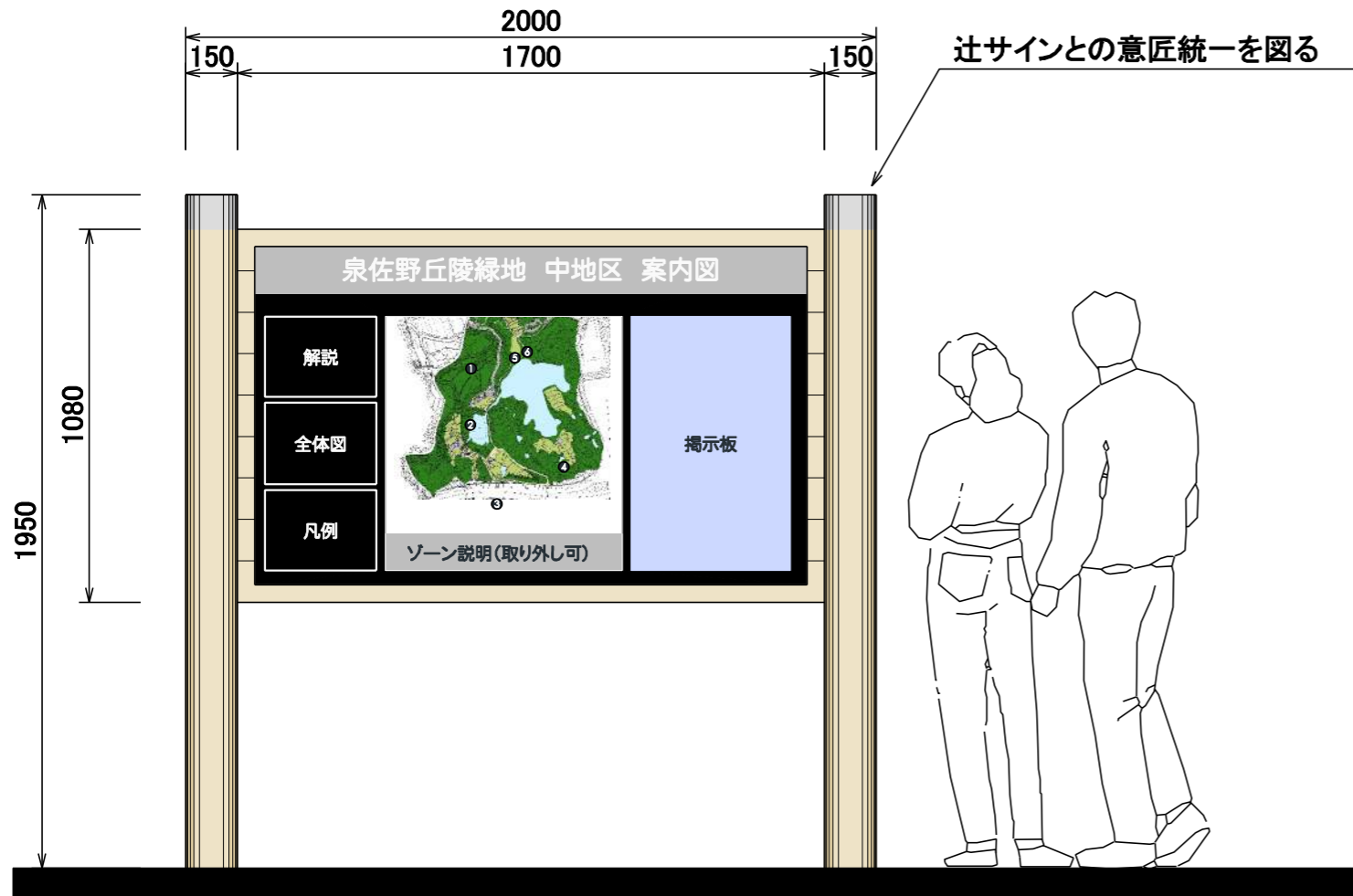
- ・『つくり続ける公園』であることから、総合案内板も含めて活動・プログラム等に対応できるものとする。
- ・可能な限りパーククラブとの協働によるハンドメイドの可能性を検討する。
- ・設置は必要最小限とし、利活用状況や整備状況にあわせた成長型の整備を行なう。
- ・公園供用開始時点では基本となるサイン(総合案内板)のみの設置とし、その他のサインは管理運営の中で設置していく。

■サイン施設のイメージ

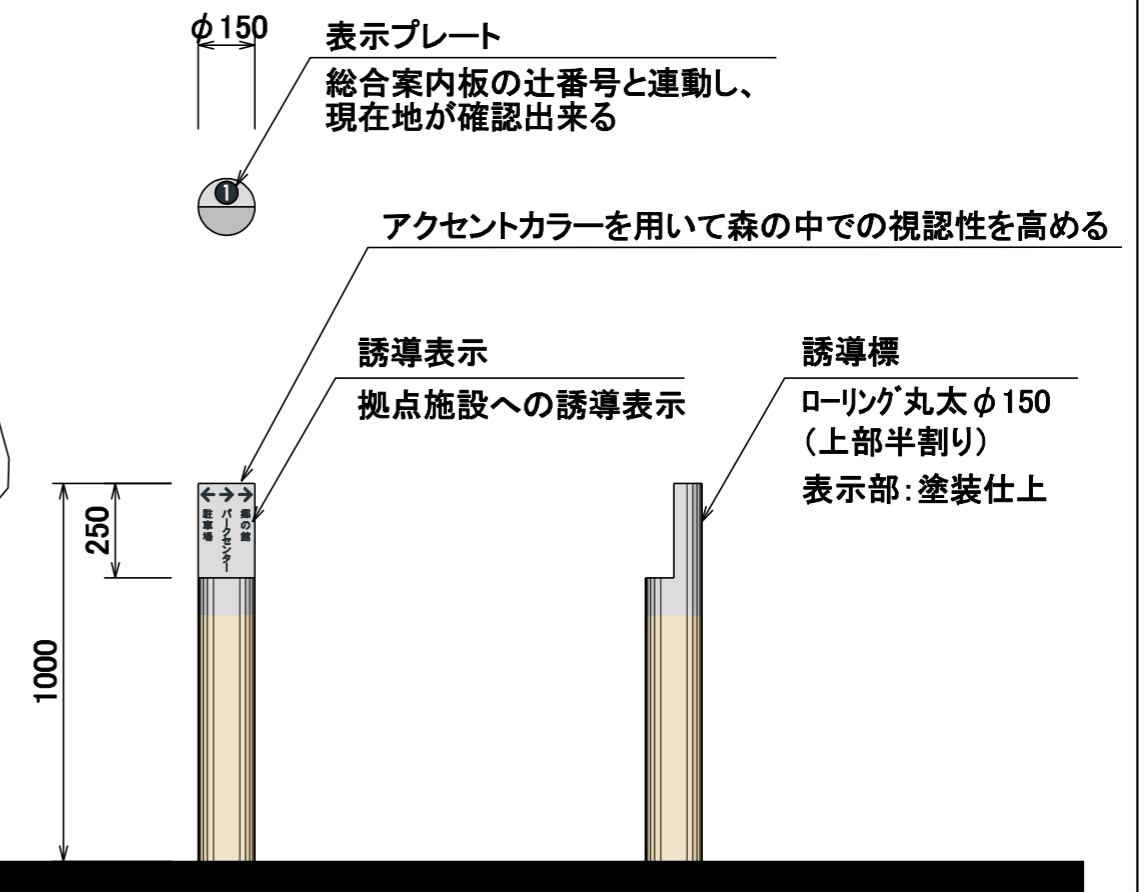
- ・素材は本公園の特徴(テーマ)に合った大阪府内産の木材を使用する。
- ・木材の特徴を活かしつつ、総合案内板と誘導辻サインに共通する意匠を施し、サイン施設の認識性を高める。
- ・他の施設(照明など)とも共通性を持たせた彩度を抑えた色彩(ex.グレイシュカラー)をサイン施設のアクセントカラーとする。
- ・園内の位置情報などを数字や記号による表記によりわかりやすく表示し、総合案内板と誘導辻サイン、案内地図(パンフレット)などと連動させる。
- ・総合案内板は、活動予定等のきめ細かな情報提供を行なうために、表示部分をマグネット式にしたり、掲示板と併用することで発信性を高める。

2. サイン施設イメージ

■総合案内板

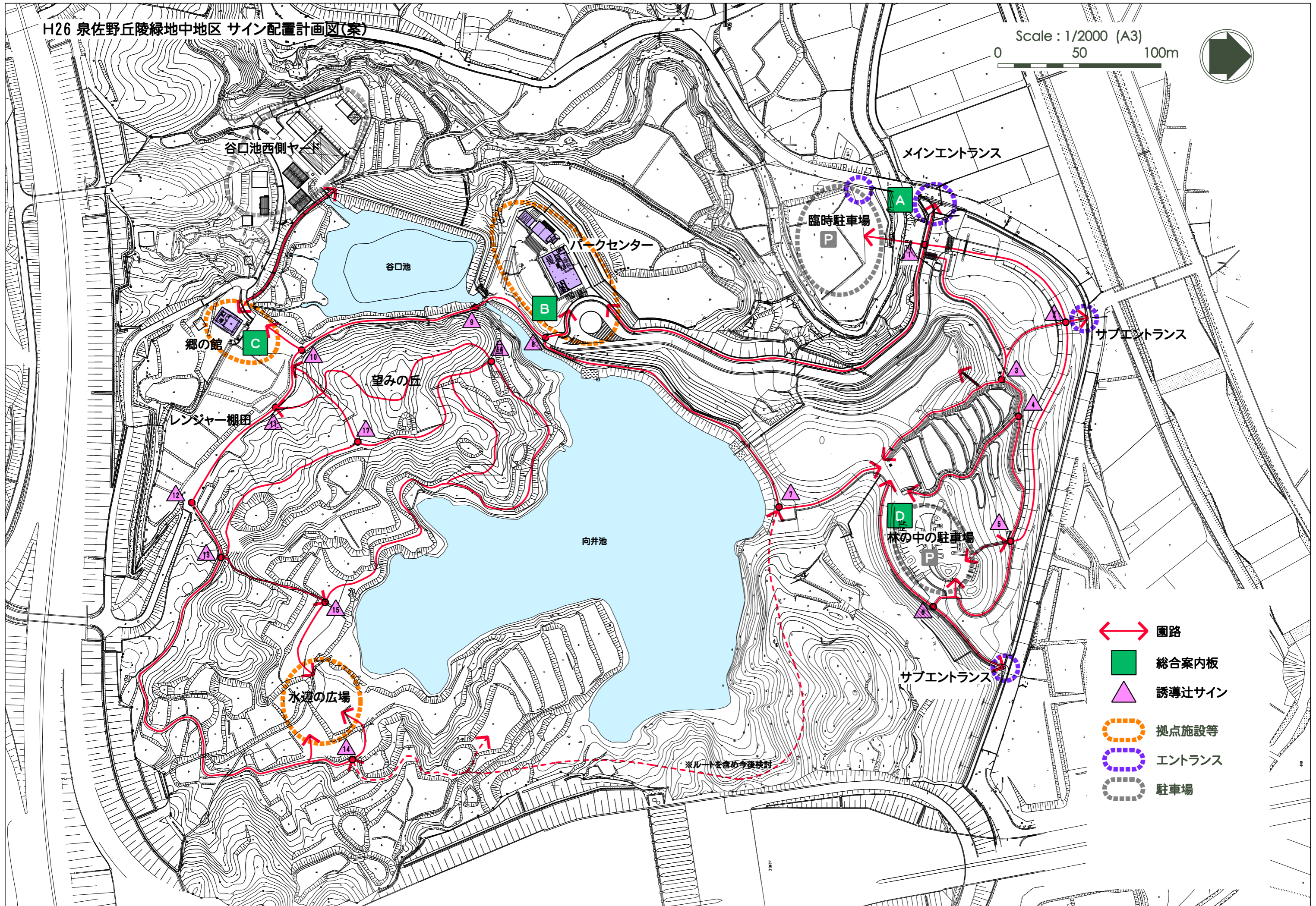








■誘導辻サイン



H26 泉佐野丘陵緑地中地区 サイン配置計画図(案)

Scale : 1/2000 (A3)
0 50 100m



-  園路
-  総合案内板
-  誘導辻サイン
-  拠点施設等
-  エントランス
-  駐車場

※ルートを含め今後検討